

平成28年度会務・会計報告



日本弁理士クラブ 幹事長報告

平成28年度日本弁理士クラブ幹事長
杉村 純子

1. はじめに

平成28年度は、日本弁理士会会長選挙があり、日本弁理士クラブ（以下「日弁」）から推薦した渡邊敬介会長候補者が無事当選を果たすことができました。これも日弁の会員の皆様や西日本弁理士クラブの会員の皆様のご支援の賜物であり、改めて、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成28年度は、以下の基本方針を掲げて活動・運営をいたしました。

- (1) 日本弁理士会（以下、弁理士会）の会務運営を支える。
- (2) 日弁が一体となって本年度の弁理士会役員選挙に臨む。
- (3) 知財制度、弁理士制度について積極的に提言する。
- (4) 5つのクラブの連携強化を図る。
- (5) 幹事会・委員会活動の会員への報告強化を図り、参画意識を高める。
- (6) 無会派層の弁理士に対し日弁のシンパを増やす。

日弁は、会員数が多い弁理士団体であり、日本弁理士会の活動に対しても積極的に政策提言をして行く責務があると考えます。そして、その責務を果たすには、現在から将来に亘り、知的財産制度や弁理士制度をどのように発展させるかという、明確なビジョンが必要だと思えます。現在は、IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）などの新技術の活用により新たなビジネスモデルが出現している第4次産

業革命の時代に突入しており、特許法をはじめ、不正競争防止法等について、第4次産業革命におけるイノベーションを促進するための議論が盛んにされており、積極的に意見発信することが必要ではないかと思えます。

日弁は、PA会、春秋会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブの5つの会派の連合体です。会員は各会派に参加しただけで、自動的に日弁の会員となります。多くの会員に、そして若手の会員が参画しやすい環境の整備を意識しながら、多くの事業やイベントを実施することを心がけ、幹事会一同、激動の1年間を走り続けました。

2. 日本弁理士会・伊丹執行部のサポート

平成28年度は、日弁推薦の伊丹勝・日本弁理士会会長の2年目の仕上げの年であり、日弁としても、伊丹会長の進める会務活動を積極的バックアップすることを活動の重要な柱の1つといたしました。

1月中旬に立ちあげられた次年度人事検討委員会において、平成28年度の弁理士会の委員会及び附属機関等の委員の推薦を行いました。また、特に、伊丹会長と、官房長役の中村副会長（3月まで）や金本副会長（4月以降）とは、密に連携を取りながら、定時総会、臨時総会の議案及び関連事項について意見を述べさせていただくとともに、5派の意見を、鈴木政策委員長が中心となって政策委員会でまとめていただき、弁理士会執行部に複数の意見書等を提出いたしました。伊丹会長はじめ、官房長役の中村副会長や金本副会長には、何回か日弁の会合にご足労いただき、直接ご説明いただいたり、会員との質疑応答を行っていただき、積極的な政策協議等を行っていただきました。政策の実効性を上げるためには、全会派がスクラムを組んで、執行部をしっかり支えていくことが重要であることを実感いたしました。

3. 弁理士会会長選挙

日弁から次期日本弁理士会会長候補を擁立すべく、協議委員会を1月に立ち上げました。

ちょうど、2月に平成29年度副会長補欠選挙がありました。この補欠選挙には、日弁からは特に副会長候補者を擁立しないこととなりました。

一方、次期日本弁理士会会長候補擁立については、早期に日弁5派が一致団結して渡邊敬介会員を擁立し、強力な選挙体制が生まれ、当選に向かって一直線に一致団結して邁進いたしました。政策の検討は、政策委員会が協力して行い、検討いただきました。また、日弁内だけではなく、政策につきましても、西日本弁理士クラブ及び東海地区の会員の先生方との政策検討会も開催いたしました。

政策検討会を経て、西日本弁理士クラブ様からは、次期会長候補について推薦をいただきました。そのおかげをもちまして、平成28年度実施の会長選挙につきましても、無事渡邊敬介会員が当選することができました。西日本弁理士クラブ様より共同推薦をいただきましたことは、日弁にとりまして、大変に心強いご支援でした。

日弁内におきましても、5派が一致団結して選挙に臨みました。新しい試みとして、選挙に関するちらし等は、全て日弁で負担して作成し、配布いたしました。

また、副会長、常議員、監事については、無投票で日弁から推薦した全会員が当選いたしました。

詳細は、後述する選挙対策委員会からの報告をご参照ください。

新役員の方の今後の活躍を期待申し上げます。

4. 日弁の運営

(1) 若手会員への参画しやすい環境の構築・5派の会員の連携強化

・旅行会

旅行会を6月11-12日に静岡県焼津温泉で実施しました。移動するための交通費を抑え、なるべく東京から近く、またご来賓の先生方にも交通の便宜が良い場所を選定するとともに、若手会員が参加しや

すように参加費用を例年に比べて抑えて実施いたしました。重鎮の先生をはじめ、多くの会員、ご来賓の先生の参加をいただき、100名を超える大旅行会となりました。その陰で、幹事会の先生には、2次会の持込み買出し等を分担して積極的に実施していただきましたことを感謝申し上げます。梅雨の時期にもかかわらず、ゴルフ大会も見学会も晴天に恵まれたことは幸運でした。

・リレーマラソン大会

若手会員の間では、最近マラソンを楽しむ会員が増えてきていることから、5派の連携強化の一環として、12月4日にリレーマラソン大会（駅伝大会）を実施しました。各会派からのリレーマラソン幹事で企画を検討いただき、大井競馬場で開催される既存の「競馬ラン」に5派のチームが参加いたしました。PAより2チーム、春秋会、南甲弁理士クラブ、無名会、稲門弁理士クラブより各1チームが参加しました。特にPA会からは女性が参加していただき、大変にうれしゅうございました。晴天の中で、馬場を走り抜け、終了後は近くで懇親会を開催し、5派各会派の会員相互間の親睦を図りました。

・サマー BBQパーティー

8月24日に、豊洲でサマー BBQパーティーを開催いたしました。開催に先立ち、伊丹勝会長、渡邊敬介会員を含めてトークショーを開催し、現在おかれている知財環境の状況と今後の弁理士の役割、そして日弁の役割についての会談を開催いたしました。

「弁理士」や「日弁」をご家族の方にも理解していただく機会になればと思い、会員のみならずご家族も含めて参加募集をいたしました。多くの会員及びご家族の参加をいただき、5つのクラブの連携強化を図る、よい機会になったと思います。「肉！」「肉！」のBBQを、ビールを片手に多いに楽しんでいただきました。

(2) 報告強化

・HPのリニューアル

HPをリニューアルいたしました。中野寛也委員

長をはじめHP委員会の多大なる協力をいただき、外部業者に依頼することなく、ボランティアでHPをリニューアルいただきました。スマホ対応も図っていただきました。「幹事会から」の欄を設け、タイムリーに幹事会からの連絡事項を掲載したり、「お知らせ」の欄の充実を図り、幹事会等からの報告強化を図ることに努めました。また、過去のイベントの写真等も掲載してありますので、ご参照ください。

(3) 無会派層への呼びかけ

・研修の実施

日弁は、毎年、特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会を開催しておりますが、試験対策のための研修会は、継続研修の外部機関認定申請のための条件には該当しないということで、当クラブは日本弁理士の継続研修の外部機関になっていないことがわかりましたので、継続研修の外部機関の認定を受けるために必要な申請の条件である実績作りとして、実務に関する研修を企画・実施いたしました。外部機関の認定を申請するためには、過去2年間、実務等の研修の実施を行った事実が必要だということで、平成28年度が1年目の実施となりました。次年度も研修を実施いただけることで、平成30年度に初めて外部研修機関としての認定の申請ができることとなります。

平成28年度は、知的財産高等裁判所の高部真規子部総括判事に「特許・実用新案に関する最近の裁判の動向」と、「商標・不正競争等に関する最近の裁判の動向」の2回の研修の講師をお願いして実施いたしました。なお、この研修は、日弁会員のみならず、広く無会派の会員にも門戸を開いて実施したものです。

また、例年どおり、特定侵害訴訟代理業務試験対策研修会を開催いたしましたが、年々、受講者数が少なくなっているとのことで、開催回数を減らしての実施となりました。

(4) 常任相談役会・相談役会

平成28年度は、補欠選挙や会長選挙のこともあり、日弁常任相談役会を複数回、相談役会とは別に開催いたしました。貴重なご意見を頂戴することができ、御蔭さまで無事に1年間運営することができました。

この場をお借りして、常任相談役の先生方、相談役の先生方に感謝申し上げます。

(5) 規約改正・次年度幹事長及び政策委員長の選任
例年、次年度政策委員会の委員長の選任は、幹事長の選任と同じように、総会決議事項となっていることに合致させて、規約を改正いたしました。

また、日弁内5派の同意を得たうえで、幹事会として次年度幹事長に無名会の鈴木一永会員、政策委員長に南甲弁理士クラブの真田有会員を推薦し、総会にて承認されました、選出されました鈴木一永現幹事長及び真田有現政策委員長は経験も知識も豊富でございます。皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

(6) 会報・テニス大会、ボウリング大会、慶弔連絡
例年通り、会報「日弁」を発行し、1月にはテニス大会を品川プリンスホテルで実施いたしました。

また、12月6日には、ボウリング大会を、高田馬場の「ビッグボックス」で開催いたしました。慶弔連絡も例年通りです。

5. 最後に

平成28年度幹事会メンバーを紹介させていただきます。

副幹事長：榎本英俊先生、海田浩明先生、神田正義先生、杉村憲司先生、出野知先生

幹事：藤沢昭太郎先生、楠和也先生、齋藤康先生、亀崎伸宏先生、林篤史先生、伊藤隆治先生、服部博信先生（特別イベント部長）、杉本有香先生、綾木健一郎先生、植田晋一先生

政策委員長：鈴木一永先生

会員皆様の温かいご支援を賜り、また、幹事会を支えていただきました幹事会メンバーの皆様に心より感謝申し上げます。選挙という荒波を乗り越えるとともに、1年間楽しく活動できましたことは、皆様のおかげであり、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました！

以上

平成28年度 日本弁理士クラブ 政策委員会活動報告

政策委員長 鈴木 一 永

1. 委員会の構成

平成28年度日本弁理士クラブ政策委員会（以下、「政策委員会」）は、以下のメンバー（敬称略）で構成されており、今年度は日本弁理士会会長選挙の関係もあり、例年よりやや早めて平成28年1月20日に第1回の政策委員会を開催した。

担当日弁副幹事長	神田正義（無名）
副委員長	菅原俊一（稲門）
	田村 爾（南甲）
	榛葉貴宏（春秋）
	林 篤史（P A）
	石原進介（無名）
委 員	西脇玲史（稲門）
	榮野隼一（稲門）
	石橋良規（南甲）
	石井茂樹（南甲）
	岩本康隆（春秋）
	三上敬史（春秋）
	中尾直樹（P A）
	帯包浩二（P A）
	竹山尚治（無名）
	久松洋輔（無名）

2. 諮問事項

平成28年度の政策委員会への諮問事項は以下の通りである。

- (1) 日弁としての中長期ビジョンの検討
- (2) 知的財産制度及び弁理士制度について日本弁理士会に対する意見・要望のとりまとめ
- (3) 日本弁理士会及び日弁幹事会からの検討依頼事項への対応

3. 活動報告

(1) 開催日

政策委員会は、1月20日に第1回目を開催し、以後

2月2日、3月1日、4月5日、5月9日、7月5日、9月6日、10月4日、11月2日、12月2日に委員会を開催した。

(2) 委員会の検討内容

まず、本年度の政策委員会では、諮問に沿って日弁としての中長期ビジョンの検討をいかに進めるかについて論議を行い、関連して、ここ数年の日本弁理士会の事業計画のまとめを行い、一覧表を作成した。

次いで、日本弁理士会執行役員会より、以下の検討依頼事項があったため、構成各派ごとに検討を依頼し、その意見をまとめて検討結果は報告書として作成した。

- ①日本弁理士会における外部役員の登用について
- ②外国法事務弁護士の混合法人（いわゆるB法人）について
- ③処分的事前公表について
- ④日本弁理士会の委員の指名制導入の是非について
- ⑤新センターの設立について

更に、平成27年度日本弁理士会の事業計画及び同平成28年度事業計画（案）についての意見聴取、まとめを行い、結果を日弁幹事会に報告した。

また、日本弁理士会会長選挙における日弁推薦候補の政策について検討し各構成会派からの要望などをまとめて立候補している会派に提示する作業を行った。

諮問に対応した日弁の中長期ビジョンについては、一定の検討を行ったものの、上記諮問のうち、「日本弁理士会及び日弁幹事会からの検討依頼事項」への対応を4月以降随時行わなくてはならず、これに加えて会長選挙の選挙政策への協力等が入ったため、十分な検討時間を確保することができなかった。

もともと、日本弁理士会の中長期にわたった一貫した活動を下支えするはずの日弁政策が日々の対応に終始してしまったことは次年度への反省点として申し送らなくてはならないものと思料する次第である。結局、本年度も日弁としての中長期ビジョンを形のある報告書とすることはできなかったため、次年度の政策委員会で継続して検討していただきたい旨幹事会に報告した。

以上



平成28年度 協議委員会 (選挙対策委員会) 報告

後期協議委員長 谷 義 一

1. 開催回数

平成28年度の協議委員会は、日本弁理士会会長候補を決定するまでの前期協議委員会と、その後の選挙対応のための後期協議委員会との2部構成であった。協議委員会は、前期協議委員会（1月から5月まで）の5回と、後期協議委員会（6月から9月まで）の5回、合計10回開催された。その後、会長候補者が2名立候補した具体的状況下、選挙活動が必要となり、選挙対策委員会となってから2回開かれた。

2. 委員会の構成

1) 前期協議委員会

委員長 稲木 次之(稲門)
副委員長 細田 浩一(稲門)
同 井上 春季(南甲)
同 中 大介(無名)
同 磯貝 克臣(春秋)
同 渡邊 伸一(PA)
委員 藤坂 恭史(稲門)、浅田 信二(稲門)
林 剛史(南甲)、藤沢 昭太郎(南甲)
鶴目 朋之(無名)、篠原 淳司(無名)
小島 一真(春秋)、井伊 正幸(春秋)
福田 伸一(PA)、小野 暁子(PA)

2) 後期協議委員会

委員長 谷 義一(PA)
副委員長 細田 浩一(稲門)
同 井上 春季(南甲)
同 中 大介(無名)
同 磯貝 克臣(春秋)
同 坂本 智弘(PA)
委員 藤坂 恭史(稲門)、浅田 信二(稲門)
林 剛史(南甲)、藤沢 昭太郎(南甲)
鶴目 朋之(無名)、篠原 淳司(無名)
小島 一真(春秋)、井伊 正幸(春秋)
福田 伸一(PA)、小野 暁子(PA)

3. 審議結果

- 1) 会長候補として、次の会員の推薦を決定した。
09682 渡邊 敬介(PA)
- 2) 副会長候補として、次の会員の推薦を決定した。
08149 尾崎 光三(稲門)
09616 本多 敬子(PA)
12835 木戸 良彦(春秋)
13084 渡邊 伸一(PA)
13483 瀧野 文雄(南甲)
- 3) 常議員候補者として、次の会員の推薦を決定した。

①関東選挙区

08005 西郷 義美(春秋)
09745 石川 徹(春秋)
10114 神田 正義(無名)
12027 市川 ルミ(稲門)
12049 平山 淳(春秋)
13429 竹内 将訓(南甲)
13836 大塚 一貴(PA)
15917 榛葉 貴宏(春秋)
15954 鶴谷 裕二(PA)
16082 佐藤 雄哉(南甲)
16099 亀崎 伸宏(無名)
17263 伊藤 隆治(PA)
17636 松田 次郎(南甲)
17742 栗野 晴夫(PA)

②東海選挙区

08404 松浦 喜多男(南甲)
11157 水野 史博(春秋)

- 4) 監事候補者として、次の会員の推薦を決定した。

07870 浅賀 一樹(南甲)
08267 西脇 民雄(稲門)
08632 小野 信夫(無名)

(各候補者について、役員種別ごとに弁理士登録番号順に示し、括弧内は所属会派を表す)

4. 選挙の結果

会長については、立候補者が2名おり、郵便投票が実施され、その結果、日弁からの立候補者の渡邊敬介会員が当選した。副会長、常議員および監事選

挙においては、いずれも、上記会員が無投票当選した。特に、会長選挙にあたっては、対抗候補との間で熾烈な選挙戦があり、日弁全体が一丸となって選挙態勢を組み、加えて、西日本弁理士クラブからも共同推薦いただいたことが勝利の大きな要因と考えられる。西日本弁理士クラブの友情と力強い協力がありがたかったことを、決して忘れてはならない。

5. 当選祝賀会

11月30日（水）午後6時30分から、東海大学校友会館において、幹事会主催で盛大に行われ、出席者全員で、日弁から立候補して当選した新役員のお祝いをした。

6. 協議委員会の活動と選挙対策委員会の選挙運動についての説明

本年度の協議委員会は、これまでどおりに、会長候補決定のための前期協議委員会と、副会長、常議員、監事の決定とその後の選挙対策のための後期協議委員会との2部体制となった。

前期協議委員会においては、弁理士同友会からの平成28年度副会長当選者が辞退するという異常事態が発生し、平成28年度副会長の再選挙が行われることになった。これを受けて、第1回前期協議委員会が平成29年1月26日に開催され、併せて、平成29年度日本弁理士会の会長選挙についての今後の予定が確認された。なお、副会長の再選挙については、弁理士同友会からのみ立候補者（青山仁弁理士）があり、結果として、青山仁立候補者が平成28年度副会長に無投票当選した。

日弁5派において、会長に立候補する意思表示した会員はPA会からの渡邊敬介会員一人であった。そこで、日弁として推薦するか否かを判断する一環として、会長立候補予定者の渡邊敬介会員本人から弁理士会会長に当選した暁の政策の説明を聞くために平成28年3月15日に日弁協議委員会（拡大）を開催し、協議委員会の委員に加えて、日弁5派の各派から幹事長外が出席し、渡邊候補予定者からの政策発表と、それに引き続いての意見交換を行った。

その後、PA会を除く日弁4派での検討を経て、

第5回日弁前期協議委員会において、全会派一致で渡邊敬介会員を会長立候補予定者として決定し、その協議委員会の決定を日弁幹事会へ上申した。日弁幹事会では、本件の決定について幹事会に一任するという総会での承認事項に基づいて、日弁として渡邊敬介会員を会長立候補予定者とするこの機関決定を行った。

それを受けて、日弁幹事会で協議委員会委員長の交代を決定し、平成28年6月9日に後期日弁協議委員会が発足した。

その後、5回に亘って行われた日弁協議委員会での審議と併行して、杉村純子日弁幹事長のご尽力により、西日本弁理士クラブ、弁理士連合クラブとの間で会長擁立に関しての意見交換がなされてきた。最終的には、日弁からの渡邊敬介候補者と会派の所属不明な形での永井義久候補者が立候補して、郵便投票を行う選挙戦に突入することになった。

平成28年9月12日の立候補届出を受けて、選挙運動が開始され、日弁協議委員会は日弁選挙対策委員会となって、選挙運動を本格始動した。

日弁としては、西日本弁理士クラブとの間で真摯な意見交換を重ねた結果として、西日本弁理士クラブからも共同推薦いただくことができ、日弁の選挙パンフレットにもこの共同推薦を明記でき、多数の推薦人を入れていただいた。西日本弁理士クラブの多大のご協力があったからこそ、今回の激戦であった会長選挙において、日弁からの渡邊敬介候補が当選できたことを記憶にとどめておくべきと考える（渡邊候補の得票は3181票、永井候補の得票は2657票）。

会長選挙以外の役員選挙については、候補者全員が無投票で当選したが、このように会長以外の役員が早々と当選してしまったことが会長選挙にあたり、投票率が52.5%と低調であり、得票を大きく伸ばせなかった要因であったかもしれない。

しかし、本年度弁理士会役員選挙にあたり、会長、副会長、常議員、監事の全員が当選することを目指して、杉村純子日弁幹事長の強いリーダーシップと献身的なご努力、それに加えて鈴木一永日弁政策委員長と共に行った行動、さらに、日弁の選挙対策委員会の各副委員長と各委員、および日弁5派の全会

員が一丸となって行動したことが、今回の、会長も含めての全候補者の当選の大きな要因だったことに誇りを持つと共に、関係各位に改めて感謝の意を表したい。

こうやって、選挙の報告を作成している今も、協議委員会での議論、西日本弁理士クラブとの折衝・意見交換、そして、具体的な選挙活動において、坂

本副委員長の事務所を選挙運動の実質的な拠点として行った日弁5派の会員による活発な選挙運動の日々が走馬灯のように思い出される。今回の選挙に関与された日本弁理士クラブおよび西日本弁理士クラブの皆さんに感謝仕切れないほど感謝しております。ありがとうございました。

平成28年度 日本弁理士クラブ 研修委員会報告

研修委員長 栗原 弘

平成28年度研修委員会につきまして、以下の通り
ご報告いたします。

1. 開催回数

研修委員会 1回

研修会 4回

2. 委員会の構成

委員長 栗原 弘 (春秋)

委員 藤沢 昭太郎 (南甲)

竹内 将訓 (南甲)

伊藤 貴子 (P A)

竹内 茂樹 (P A)

飯塚 健 (稲門)

高橋 伸也 (稲門)

中 大介 (無名)

林 司 (無名)

米屋 崇 (春秋)

3. 研修内容

(1) 特定侵害訴訟代理業務試験対策研修

特定侵害訴訟代理業務対策研修として、以下の研
修会を行いました。

<過去問解析講座>

日 時：7月13日（火）18:30～20:30

場 所：弁理士会館

講 師：弁護士・弁理士 石神恒太郎先生

(青和特許法律事務所)

内 容：

- ・特定侵害訴訟代理業務試験事例問題の解答ポイン
トについての解説

- ・平成27年度第1問、第2問解説

受講者数：10名

<模擬試験（特許法関連）>

日 時：9月13日（火）18:30～20:30

場 所：弁理士会館

講 師：弁護士・弁理士 柳下彰彦先生

(弁護士法人内田・鮫島法律事務所)

内 容：

- ・起案対策模擬試験／小問対策模擬試験およびその
解説

講師の先生のご協力をいただき、模擬試験の答案
について、採点して返却しています。

受講者数：8名

(2) 弁理士向け研修

日本弁理士クラブが日本弁理士会継続研修の認定
外部機関として認定を受けるため、以下の研修会を
行いました。

<第1回>

日 時：10月7日（金）18:30～20:30

場 所：弁理士会館

講 師：知的財産高等裁判所 高部眞規子判事

内 容：訴訟実務講座（特許編）

受講者数：77名

<第2回>

日 時：11月25日（金）18:30～20:30

場 所：弁理士会館

講 師：知的財産高等裁判所 高部眞規子判事

内 容：訴訟実務講座（商標編）

受講者数：78名

以上

会報委員会報告

委員長 瀧野 文雄

平成28年度会報委員会の活動につきまして、下記のとおりご報告いたします。

1. 委員の構成

委員長	瀧野 文雄 (南甲)
委員	佐藤 雄哉 (南甲)
	松田 真 (稲門)
	福森 智哉 (稲門)
	中村 希望 (無名)
	亀山 夏樹 (無名)
	三田 康成 (春秋)
	金森 靖宏 (春秋)
	松宮 尋統 (P A)
	齋藤 誠 (P A)

2. 活動内容

会報「日弁」第40号の発行

発行部数：全2,898部

内 訳 南甲：440部

稲門：220部

無名：280部

春秋：923部

P A：1,035部

発 送 平成28年11月に印刷の手配を行い、順次各派に発送しました。

3. 会合

平成28年2月29日に会報委員会の立ち上げを行い、編集作業の確認、原稿依頼の分担等を決め、原則、メールベースで管理表に基づいて作業を行うことを確認しました。

4. 反省点

会報は、管理表に基づいて、原稿依頼から最終的な発送まで、印刷会社と連絡を取りながら進捗管理をして、編集作業を行っています。

今回、最終的な印刷状態の各記事をチェックするに当たり、執筆者のお名前に誤植があることに気が付きませんでした。発送前の会報を回収し、シール貼付により修正を行いましたが、すでに発送されてしまった物に関しては修正ができませんでした。

最終的な印刷状態のチェック体制をより強化する必要があると痛感しました。

以上

広報委員会報告

平成28年度の広報委員会の構成及び活動内容等について、次の通りご報告いたします。

1. 委員の構成

委員長	中野 寛也（稲門）
委員	下田 俊明（P A）
	井上 正（春秋）
	河野 正吾（南甲）
	山田 勉（無名）
担当副幹事長	出野 知（春秋）

2. 会合及び審議内容

（1）全体会合（日弁4委員会合同立上げ）

開催日時：平成28年2月29日（月）18:30～

場所：弁理士会館地下1階A B会議室

議事：1）年間スケジュールの確認

2）日弁ホームページのリニューアル方法

（掲載事項、デザイン等）の確認

（2）日弁幹事長および広報委員長の会合

開催日時：平成28年7月26日（火）17:00～

場所：日弁幹事長の事務所の会議室

議事：日弁ホームページのデザインの最終決定

3. 広報委員会の活動報告

（1）ホームページのリニューアル作業

- ・スマートフォン対応で、RWD（レスポンシブ・ウェブ・デザイン）を採用した。
- ・蓄積された過去データは、CGIによる掲示板のため、RWDの機能が活かされないことから参照のみ可能とし、この掲示板への新規入力を廃止した。

（2）ホームページの更新・維持・管理

- ・幹事長就任挨拶&写真のホームページへの掲載
- ・日弁の活動報告、各種企画の紹介、写真掲載
- ・日弁及び各会派で主催の研修会の案内
- ・日弁会報（第40号）の掲載

平成28年度会合行事記録

平成28年度副幹事長 榎 本 英 俊

月	総会・相談役会・行事	幹事会	委員会	その他
1月	1/23 テニス大会	1/12 第1回	1/20 第1回政策 1/26 第1回協議	
2月	2/26 第1回常任相談役会 2/26 第1回相談役会	2/ 9 第2回	2/ 2 第2回政策 2/23 第2回協議 2/29 第1回規約 2/29 第1回研修 2/29 第1回会報 2/29 第1回広報	
3月	3/ 8 第1回定時総会	3/ 8 第3回	3/ 1 第3回政策 3/15 第3回協議 (拡大)	3/11 東海協議会 役員慰労激励会 3/11 西日本弁理士クラブ 役員慰労激励会
4月	4/22 第2回相談役会	4/12 第4回	4/ 5 第4回政策 4/ 8 第4回協議	
5月		5/10 第5回	5/ 9 第5回政策 5/10 第5回協議	
6月	6/11-12 旅行会 6/12 ゴルフ大会	6/ 7 第6回	6/ 9 第6回協議	
7月	7/13 特定侵害訴訟代理業務試験 過去問講座	7/12 第7回	7/ 5 第6回政策 7/11 第7回協議 7/27 第8回協議	7/ 9-10 西日本弁理士クラブ 旅行会
8月	8/24 BBQサマーパーティー		8/26 第9回協議	
9月	9/ 6 第2回常任相談役会 9/13 特定侵害訴訟代理業務試験 模擬試験	9/16 第8回	9/ 6 第7回政策 9/ 9 第10回協議	
10月	10/ 7 訴訟実務講座 (特許) 10/28 第3回常任相談役会	10/18 第9回	10/ 4 第8回政策	
11月	11/22 第3回相談役会 11/25 訴訟実務講座 (商標) 11/30 第2回定時総会 11/30 役員選挙当選祝賀会	11/10 第10回	11/ 2 第9回政策 11/29 第1回70周年記念準備	11/12-13 弁理士連合クラブ 旅行会
12月	12/ 4 駅伝大会 12/ 6 ボウリング大会	12/20 第11回	12/ 2 第10回政策	

平成28年度 総会承認事項

副幹事長 榎 本 英 俊

第1回総会

日時：平成28年3月8日（火）18時00分～19時00分

会場：弁理士会館 地下1階 A, B会議室

(1) 平成27年度日弁事業報告の承認を求める件
出野知副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(2) 平成27年度日弁決算報告の承認を求める件
海田浩明副幹事長による説明、報告の後、賛成多数により承認された。

(3) 平成28年度日弁事業計画の承認を求める件
杉村純子幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(4) 平成28年度日弁予算の承認を求める件
海田浩明副幹事長による説明の後、賛成多数により承認された。

(5) 平成28年度日弁予算予備費の取り崩しの承認を求める件
海田浩明副幹事長より、幹事会への一任を求める旨が説明され、賛成多数により承認された。

(6) 平成29年度日本弁理士会（関東支部を含む）役員推薦に係る承認を求める件
杉村純子幹事長より、幹事会への一任を求める旨が説明され、賛成多数により承認された。

第2回総会

日時：平成28年11月30日（水）17時40分～18時15分

会場：弁理士会館 地下1階 A, B会議室

(1) 日本弁理士クラブ規約改正の承認を求める件
神田正義副幹事長から規約改正の趣旨説明がなされ、賛成多数により承認された。

(2) 平成29年度日本弁理士クラブ幹事長選任の件
鈴木一永会員を選任することについて、賛成多数により承認された。

(3) 平成29年度日本弁理士クラブ政策委員長選任の件
真田有会員を選任することについて、賛成多数により承認された。

(4) 平成29年度日本弁理士クラブ副幹事長、幹事及び会計監事選任の件
平成29年度幹事長に一任することについて、賛成多数により承認された。

平成28年度最終会計報告

平成28年度会計担当副幹事長 海田 浩 明

平成29年度第1回日弁総会において平成28年度会計報告が承認されましたので、以下にご報告申し上げます。

下記表の通り、次年度（平成29年度）への繰越金となる予備費（4,577,064）は、前年度（平成27年度）からの繰越金（7,909,731）に比べ、3,332,667円の大減少となりました。平成28年度は、会長選挙の実施に伴う活動や新規行事の開催など、積極的な活動が展開されたこともあり、いずれも前向きな要因ではありますが、会計収支的には厳しいものとなっております。前年度からの繰越金の減少は、ここ数年の傾向となっているため、引き続き活動資金を有効に活用していくことが重要と考えます。関係各位のご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

(単位:円)

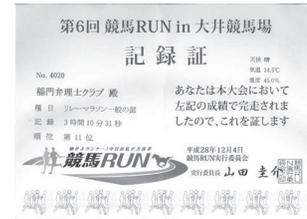
収入の部	実績額	予算額
前年度会計からの繰越金	7,909,731	(7,909,731)
各クラブ分担金	2,500,000	(2,500,000)
利息	756	0
協議・選対委員会より入金	0	0
平成28年度活動準備費	200,000	(200,000)
	(前年度より)	
その他	0	0
合 計	10,610,487	(10,609,731)

支出の部	実績額	予算額
例会・総会	42,210	(50,000)
幹事会	129,190	(400,000)
会報委員会	1,028,218	(1,100,000)
協議・選対委員会	2,154,864	(4,100,000)
政策委員会	178,277	(250,000)
広報委員会	62,100	(250,000)
研修委員会	142,193	(200,000)
日弁五派交流事業費	377,039	(400,000)
相談役会	8,810	(50,000)
旅行会	770,751	(900,000)
旅行会ゴルフ大会補助	63,040	(50,000)
ボウリング大会補助	50,000	(50,000)
テニス大会補助	50,000	(50,000)
リレーマラソン補助	74,998	(100,000)
庶務	18,564	(100,000)
慶弔費	42,374	(150,000)
渉外・交通	342,930	(500,000)
幹事長渉外費	380,369	(400,000)
P G/WG活動費	0	(100,000)
規約委員会	0	(50,000)
70周年準備委員会	17,496	(100,000)
次年度活動準備費	100,000	(100,000)
予備費	4,577,064	(1,159,731)
合 計	10,610,487	(10,609,731)



平成28年度 日弁駅伝大会報告

担当副幹事長 出野 知



新企画

日弁駅伝大会を2016年12月4日（日）に大井競馬場にて開催しました。

日本弁理士クラブ（以下、「日弁」）では、従来からゴルフ大会、テニス大会、ボウリング大会などのスポーツ系イベントを企画・運営していますが、更なる親睦の場を提供する新企画として、昨今のランニングブームに乗って駅伝大会を立案しました。

初めての試みで前例がないため、各会派の代表者（春秋：遠藤先生、PA：岩見先生、南甲：田村先生、無名：齋藤先生、稲門：浅田先生）からなる実行委員会を5月に立ち上げ、レース選定の他、競技方式や表彰内容、懇親会会場などを半年かけて練り上げました。議論の結果、会派毎にチームを結成して民間の駅伝大会に参加することにしました。大井競馬場のレースを選定した理由は、記念すべき第1回大会を盛り上げるべく、競馬場の馬場を人が走るという“非日常性”にインパクトを求めたことでした。

レースは、1周1.4kmの周回コースを30周+195m走り、合計42.195kmの所要時間を競うというものです。各チームの構成人数も、また1人当たりの周回数も自由に設定でき、走力のある選手はより多く走ることができ、馬の気持ちになりたいだけの方は1周だけでも構わないことにしました。

レース

当日は天気にも恵まれ、絶好の競馬（競人？）日和になりました。スタート地点には競馬用のゲートが設けられ、100を超えるチームの第1走者がそれを潜り抜けて競技が開始されました。当職も出走しましたが、思った以上に馬場が軟らかく、海岸の砂浜を走るような感じで非常に体力を奪われました。

そのような厳しいレース環境の中、稲門チームはレース全体の先頭集団に入る快走を続け、見事3時間10分31秒でゴールイン！ このタイムは完走100

チーム中、第11位の記録になりました。

各チームの記録は以下のとおり。

日弁順位	チーム	記録	全体順位
第1位	稲門	3時間10分31秒	11位
第2位	春秋	3時間29分57秒	44位
第3位	無名	3時間38分18秒	58位
第4位	南甲	3時間40分42秒	63位
第5位	PAチータ	3時間41分37秒	67位
第6位	PAミケ	4時間11分31秒	89位

懇親会

全チーム完走の快挙を成し遂げた後、近くのファミリーレストランにて表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。表彰式では、平成28年度日弁幹事長の杉村純子先生から稲門チームに優勝杯と副賞（食事券）が贈呈されました。また、日弁幹事会から3位までのチームに金銀銅メダル（チョコレート）と、出走者全員に参加賞（図書券）が贈られました。

限られた予算の中、懇親会参加者には1000円/人のご負担をお願いしましたが、赤白ワインが十分に行き渡ったためか、ほろ酔い加減でのお開きとなりました。



おわりに

日弁幹事長の熱意、実行委員各位の企画力その他多くの皆様のご協力もあって、第1回大会を成功裡に終えることができました。日弁の企画に初めて参加された先生方も多く、更なる親睦の場を提供するという目的は達成されたように思われます。また駅伝には「櫂を渡す」という醍醐味があることを、少なくとも当職は実感しました。次年度以降も本企画が継続することを祈念して、本報告の結びとさせていただきます。

以上



平成28年度 日弁ボウリング大会報告

日弁副幹事長 杉村 憲司

第39回となる平成28年度日本弁理士クラブボウリング大会は、平成28年12月6日（火）に、51名もの大勢の参加者により、高田馬場グランドボウルにおいて盛大に開催されました。

大会ルールは、参加者全員が3ゲームずつ投げ、その合計で各会派別の団体戦と各個人戦のスコアを競うというものです。

団体戦では、昨年の大会の優勝チームP A会を抑え、春秋会が優勝しました。昨年は、P A会が春秋会の連覇を阻みましたので、平成29年度はどのような結果になるか、今から大変楽しみに思います。

レディース戦では、日弁幹事長（当時）の杉村純子会員（稲門）が見事優勝いたしました。全体として、初心者から上級者まで、皆が楽しくプレイができた大会となりました。

会場は、今回初めて利用する高田馬場駅前の高田馬場グランドボウルと言う大きなボウリング場でした。ストライクが出る度に皆で喜び合い、気のきいた賞品もあり、和気あいあいとした楽しいボウリングでした。

懇親会は、近くの「くいもの屋 わん」（居酒屋）で開催されたため、移動もスムーズで、気持ちいい汗を流したあとの美味しいお酒と肴で大いに笑い合い、とても盛り上がりました。

本年度も秋口になりましたら参加希望者を各会派別に募集いたします。とても楽しいボウリング大会ですので、初心者から上級者まで多くの会員の皆様の参加をお願いする次第です。

■団体戦（上位6名の合計）

優勝	春秋	2702
2位	P A	2574
3位	無名	2458
4位	南甲	2348
5位	稲門	2032

■個人戦

（1）順位賞

優勝	樋口和博	春秋	561
2位	三上 結	P A	474
3位	大塚啓生	南甲	467
4位	篠田卓宏	P A	454
5位	磯田志郎	春秋	452
6位	竹山尚治	無名	450
7位	藤本奈月	春秋	449
7位	伊藤高英	春秋	449
9位	田浦弘達	P A	445
10位	中 大介	無名	439
15位	水本義光	P A	403
20位	村上晃一	無名	389
25位	辻田幸史	春秋	379
30位	石橋良規	南甲	348
35位	吉澤大輔	稲門	339
39位	松井伸一	P A	325
40位	千木良崇	春秋	323
45位	浅村 皓	P A	312
B B	青木博通	南甲	288

（2）レディース部門

優勝	杉村純子	稲門	328
----	------	----	-----

（3）ハイゲーム賞

1位	樋口和博	春秋	221
2位	篠田卓宏	P A	191
3位	田浦弘達	P A	190

（4）大波小波賞

大波賞	田浦弘達	P A	75
小波賞	磯貝克巨	稲門	7

（敬称略）

以上